

## 第12回 上越ソフトバレーボール連盟主催 小学生・ファミリー親善大会 開催要項

今後の社会情勢等により、予告なく大会を中止する場合があります。

1. 主 催 上越ソフトバレーボール連盟
2. 開催期日 令和 3年 9月26日(日)
3. 日 程 開 館 9:00(役員理事集合8:30)  
受 付 9:15~30  
代表者会議 9:30(本部席前)  
開 会 式 9:45  
競技開始 10:00~ 16:00(終了予定)
4. 会 場 上越市教育プラザ(第2体育室)  
新潟県上越市下門前1770番地
5. 競技種別 A. 小学生の部 B. ファミリーの部
6. 競技規則
  - (1) 公益財団法人日本バレーボール協会制定の「2020年度ソフトバレーボール競技規則」及び「開催要項」を適用する。
  - (2) 本大会の使用球は公益財団法人日本バレーボール協会制定のソフトバレーボールを使用球とし、以下に規定する。
    - 小学生の部 (ミカサ製MSN64:円周64±1cm、重さ約150±5g)
    - ファミリーの部 (モルテン製:円周78±1cm、重さ約210±10g)
  - (3) チーム構成は以下とする。
    - A. 小学生の部(小学校4年生以下)
      - ① 監督者1人(成人者の引率とする)、コーチ1人、キャプテンを含む競技者4人、交代競技者4人の計10人以内で構成し、選手は小学生4年生以下で男子と女子の規定は問わない。
      - ② 番号はNo.1~99までとし、胸部と背部中央に誰もが見やすく、わかりやすい表示のものとする。ユニフォームが基準に合わない場合は、ゲームベストを各チームで用意して着用すること。
    - B. ファミリーの部
      - ① 監督者1人、キャプテンを含む競技者4人、交代競技者4人の計9人以内とする。ただし、監督が選手を兼ねる場合は、競技者(選手)8人を超える登録はできない。
      - ② 競技中コート内には**30歳以上の男性と女性の各1人、小学生2人以上が存在すること**。なお、30歳以上の成人女性は2人でも出場可とする。小学生の学年、男子や女子の規定は問わない。
      - ③ 競技者の交代は、疾病やケガによりやむを得ない場合を除き、被交代競技者と同等区分の者とし、子供と大人の交代はできない。
      - ④ 番号はNo.1~99までとし、胸部と背部中央に誰もが見やすく、わかりやすい表示のものとする。ユニフォームが基準に合わない場合は、ゲームベストを各チームで用意して着用すること。
  - (4) 年齢基準日を**令和4年4月1日現在**とし、小学生は**現行学年代**とする。

- (5) 選手のユニフォームは、清潔で競技規則に規定される各チームで統一されたものを準備し、着用すること。
- (6) 監督はベンチにいる際は既定のマークを左胸に、またチームキャプテンは競技規則に沿ったキャプテンマーク又は腕章（アームバント等）を着用すること。
- (7) 各カテゴリーにおける競技規則（特記）について、以下に説明する。
  - A. 小学生の部（小学生4年生以下）
    - ① ネットの高さは180cmとする。
    - ② 選手はサービスが打たれるまでコート内に留まらなければいけない。  
（コート外は反則）位置はどこにいてもよい。
    - ③ ショートサービスラインからサーブを行う場合は、アンダーハンドサービス（ボールヒットの位置が脇より下方であること）とする。  
（違反1回目は注意、2回目以降は反則）
  - B. ファミリーの部
    - ① ラリー中の自チーム内でのボールヒット3回のうち1回以上は小学生の競技者が触れなければならない。（成人者のみのラリー反則）
    - ② 成人者のサービスは、アンダーハンドサーブとする。  
（違反1回目は注意、2回目以降は反則）
- (8) 特別規則（ローカルルール）を用いる場合は、代表者会議等で説明を行い、出場者全員が把握できるように設定する。

## 7. 競技の方法

- (1) 競技は原則3セットマッチで行い、各ブロックごとに予選リーグ戦を行う。  
各ブロック予選順位により上位や下位等のグループに編成し、決勝トーナメント戦もしくはリーグ戦を行って順位を決定する。  
その他、3位決定戦（未定）、交流戦を行う予定であるが、参加チーム数や試合の進捗状況等により、競技の方法は変更する場合がある。  
また、競技方法に変更が生じた場合は、代表者会議にて説明する。
- (2) リーグ戦におけるブロック順位決定方法は次のとおりとする。
  - ① 採点法（勝ち2点、負け1点、棄権又は没収0点）による点数の高い方が上位。
  - ② セット率（得セット数÷失セット数）の高い方が上位。
  - ③ ポイント率（総得点数÷総失点数）の高い方が上位。  
試合途中の棄権について、それまでの得点は有効とするが、相手に15点を与えてセット完了とし、棄権以降の残りセット及び没収試合については、すべての得点を0-15とする。
  - ④ 上記①～③まで同じく順位が決定しない場合は、直接対戦成績の勝者を上位とするが、直接対戦がない場合は、チーム代表者による抽選とする。
- (3) 審判は各チームにおいて相互審判制とし、審判担当表に基づき各チームで担当し、主審、副審、線審2人、記録、点示員を選出してこれにあたること。
- (4) 予選リーグ組み合わせは大会役員において抽選で行い、ホームページに掲載する。

## 8. 競技の進行

- (1) 競技はプログラム記載どおりに進行し、試合はすべて追い込みで行う。
- (2) 競技や審判を担当するチームは、試合進行や進捗状況を適時確認し、円滑となるように努めること。当日進捗状況により試合順やコート変更もあり得る。
- (3) 試合が連続する場合は、次試合開始まで最大15分の間隔を取ることができる。

9. 表 彰 各競技種別の決勝順位戦の上位1位から3位までを表彰する。

10. その他注意事項

- (1) チームは、相互審判制や不測の事態（ケガ等による試合続行不能）に備えた人数、基準等を満たしたメンバー構成に努めること。
- (2) 参加申し込み時の選手等に変更が生じた場合は、当日配付の構成メンバー用紙の右欄（当日変更用）に変更内容を記入して、代表者会議終了後に大会競技委員長へ提出し、承認を得ること。
- (3) 審判担当者は、各自でホイッスル長、短笛（電子笛不可）を準備すること。
- (4) 公共施設を利用するため、指定場所以外での喫煙や飲食の禁止、その他館内の使用規則を遵守すること。持ち込み物は個人又は各チームで管理し、紛失や盗難防止に努め、不要物やゴミ等は必ず持ち帰りを徹底すること。
- (5) 各自で十分な準備運動を行いケガや負傷防止、体調管理に努めること。
- (6) 本大会の申込書を基に、上越ソフトバレーボール連盟で当日のみ有効のスポーツ傷害保険に加入（当日変更登録選手は除く）するが、大会中のケガや負傷、病気については、応急処置の他は一切の責任を負わない。
- (7) 会場は空調設備が整っておりません、夏季大会における熱中症の対策について、各チームや団体で十分な対応を願います。

11. 参加資格

- (1) 新潟県内の所属チームとし、チーム数は制限しない。  
ただし、感染拡大や移動制限等が発表された場合に、遠方地域からの参加をご遠慮いただくことがあります。
- (2) 各チームは、審判や記録ができる者を帯同させることが望ましい。
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に同意、遵守いただけるチーム。

12. 参加料 1チーム 2,000円  
※大会当日に受付でお支払い願います。

13. 申込締切 令和 3年 9月 6日（月）17時必着

14. 申込方法 別紙の参加申込書に所定事項を記入し、下記申込先へ送付すること。  
申し込み後に変更や訂正が生じた場合も同じくメールにて連絡する。

15. 申込先 上越ソフトバレーボール連盟（競技委員長）松田 透 宛  
E-mail（メール） [svb\\_joetsu@yahoo.co.jp](mailto:svb_joetsu@yahoo.co.jp)

※電話での対応は行っておりません、ご質問等はメールにて伺います。  
※大会中止の場合は申込者（送信者）へメールにてご連絡いたしますと共に  
下記ホームページへ掲載いたしますので、ご確認願います。

◇上越ソフトバレーボール連盟公式ホームページ

<http://www.kisnet.or.jp/~jsvf-vb/>

## 16. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

参加にあたり、別紙「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う大会開催について」を所属団体やチーム内で事前に確認し、参加する全員（当日変更メンバーも含む）に周知を行うようお願いいたします。

※JVAバレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン 2021.3.5-更新版- 参照

- (1) 大会当日に発熱（37度5分以上）、咳や風邪などの症状がある方、感染懸念を持っている方は、来場せずに参加を見送るようにしてください。
- (2) 入館時に連盟役員にて検温を実施いたします。密集など混雑が予想されますので、ご協力をお願いいたします。
- (3) チーム責任者は、当日配布するチェックシートを確認して、参加者全員から署名、サイン（氏・名を自筆で）を記入し、代表者会議時に本部へ提出してください。
- (4) 試合中以外はマスクを着用する。（主審、副審以外の審判を行う者を含む）  
来場や退館を含む試合待機の際は、大声を出さない、できるだけ人との間隔を空け、こまめな手洗いやアルコール消毒液等を用いた手指の消毒を実施をする。
- (5) 飲食物を含む持ち込み物品は、チーム単位、または個人で管理し、共有するものが無いように配慮して放置しない。
- (6) 大会後2週間を経た期間に感染等の発症が確認された場合は、チーム責任者は速やかに主催者へ報告を行うこと。
- (7) その他、感染拡大対策や予防については、各個人でも励行するように努めること。  
チーム責任者は都度確認を行い、指導を徹底すること。